



ノーモアヒバクシャ 世界大会

原水爆禁止世界大会・長崎に組合員、職員7名が参加

8/7(日)~9(火)に2011年原水禁世界大会・長崎が長崎市内で開催されました。和歌山県原水協からは41名が参加し、医療生協・民医連からは、西山さん(南地区組合員)と沼田さん(介護職員)、福田さん、前田さん、箱木さん(看護師)、前田さん(理学療法士)、父川さん(事務)の7名が参加しました。

6日、フェリーで泉大津港から出発し、船中泊で新門司港へ、7日朝からバスで長崎へ現地入りしました。第1日目は、長崎原爆資料館を見学した後、世界大会・長崎開会総会が行な



われる長崎市民会館へ。会場は7800名を超える全国各地からの参加者で埋め尽くされました。また、世界大会とあつて25カ国から87名の海外代表も参加しました。田上長崎市長があいさつでは、「ノーモア・ヒバクシャと訴えてきた長崎市民に、福島原発事故は、大きなショックを与えた。」「取り返しのつかないことが起きてから、その危険性に気づいたのでは遅い。原発、核兵器の危険性についてももしっかり伝えないといけない。」とのべ、核兵器のない世界にむけて多くの地域、国に連帯をよびかけました。開会総会は、被爆者の訴え、国連・政府代表の発言や核兵器全

面禁止にむけて海外・国内から運動・活動の報告が続き1日目が終わりました。

2日目は、18の分科会が行なわれ、核兵器全面禁止に向けた交流や核兵器・原発とエネルギー問題などの交流学习、被爆遺構・碑めぐり、佐世保基地調査活動などの動く分科会、被爆者訪問など多種多彩な分科会にそれぞれが分かれて参加しました。被爆遺構めぐりに参加した職員は、『案内人の人に各場所ですごい話を聞かせてもらいながら歩きました。被爆した建物や壁がありました。遺構も人目のつかないところへ移動している物もありました。また、原爆で残された方は精神的にも身体的にも苦しんでいる』話され、すごく悲しくなりました。』、被爆者訪問した参加者は『一言でいうと、ただただ衝撃的でした。この衝撃を病



院の仲間に伝えたい。』などの感想が寄せられました。3日目最終日は閉会総会が開催され、海外代表の発言、震災・原発被害者からの訴え、長崎か

らのよびかけなどが採択され閉幕しました。また、被爆66周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典にも参加しました。田上長崎市長による長崎平和宣言の後、11時2分原爆投下時間に黙祷し、核兵器のない平和な世界をと誓い帰和となりました。参加にあたって募金にご協力ありがとうございました。



2011年度 医療福祉生協連の 通信教育のご案内

学びは明日への 確かな一歩



申し込み 7月31日
受講開始 9月1日

まだいけるで通信教育の受講申込!! 8/15最終メ切り 和歌山中央医療生協申込ランキング

ランク	コース	人数	ランク	コース	人数				
1位	高齢者にやさしい(都市)まちづくり	50	9位	わかりやすい医療生協の経営の見方	3				
2位	「いのちの大運動と医療福祉生協連」	27	9位	医療生協の接遇改善	3				
3位	医療生協運動と明るいまちづくり	14	12位	「憲法と医療生協」	2				
4位	医療生協と介護	10	12位	社会保障制度と医療生協運動	2				
5位	行動変容を生む患者・住民アプローチ	9	12位	その他	2				
5位	高齢期のいきいき生活	9	13位	医療生協の健康づくり	1				
7位	入門・医療生協の生い立ち	7	13位	ISO9001:2008入門	1				
8位	理事と職責者に必須の新生協法	4	13位	事例で学ぶ事業所利用委員会	1				
9位	地域に「元気」をつくる医療生協	3							
地区名		東	中	南	河西	那賀	海南海草	その他	計
受講目標		100	20	20	20	20	10	10	176
2011/8/11現在		96	7	0	34	22	12	5	